

東山

栃木市立大平東小学校
学校だより 第8号
令和6年12月4日
学校長 新村 勲



日々の学校の様子や行事予定をホームページに掲載しています。ご覧ください。



【学校の教育目標】 やさしい子 考える子 たくましい子

東山研究会

東山研究会とは大平東小の教員による校内の研究会のことです。お互いに授業を参観し、改善点などを話し合い、よりよい授業ができるように努める取組です。

7月号（第4号）で述べたように、今年度は学校全体で「語彙（ごい）を豊かにする指導法の工夫」について研究しています。語彙（ごい）とは、あえて簡単に言えば「言葉」のことです。

11月29日（金）に2つの研究授業が行われました。

2校時は1年生の国語の授業でした。

物語文「たぬきの糸車」の授業です。

1年生は語彙を豊かにするために、授業の最初に「文作り」を行っています。教科書巻末「ことばのたからばこ」の言葉を使って文作りをします。

日直2名と担任が言葉の書かれたカードを1枚ずつ引きます。この日は「おこる」「おばあさん」「むずかしい」の言葉を引きました。

この3つの言葉を使って文を作ります。

書く前に2人組でお話をします。慣れたもので、椅子ごと向かい合って、話し合いを始めます。これをもとにノートに書きます。



2人組で楽しく伝え合う1年生

- ◆おばあさんが、子どもにむずかしいしゅくだいをおしえてもわからないからおこりました。
- ◆わたしはむずかしいゲームをしていました。ずっとしていたのでおばあさんにおこられました。
- ◆おばあさんがむずかしいりょうりをつくりました。りょうりがしっぱいしたのでおこりました。

などと書いていました。

書き終わった人は他の子と交流します。

このような学習を定期的に行うことで、楽しみながら語彙を豊かにすることにつながっています。

今回の授業のねらいは、「たぬきの糸車」のお話の中で一番好きなどころとその理由を書いて伝え合うことです。

ここでも語彙を増やすために、教科書巻末「ことばのたからばこ」の言葉を使って書いています。



相手を見つけて考えを伝え合う

- ◆わたしは、たぬきがわなにかかっているところをおかみさんがたすけてあげたところが好きです。どうしてかという、たぬきをたすけたところがやさしいなとおもったからです。
- ◆ぼくは、たぬきがキャーというところが好きです。どうしてかという、たぬきがわなにかかったからおもしろいからです。つぎの1ねんせいにおしえたいとおもいました。
- ◆わたしは、びよこびよこおどりながらかえっていくところが好きです。どうしてかという、おどってかえるところがかわいいからです。

などと書いていました。

書き終わった人は他の子と交流したり、参観している先生に伝えたりしました。
45分間とっても楽しそうに取り組んでいるのが印象的でした。

4校時は5年生の体育の研究授業が行われました。
跳び箱運動の授業です。

体育ですが、友達の演技を見て、アドバイスをしたりよいところを伝えたりする活動を取り入れました。

跳び箱運動ではありますが、言葉で伝え合う学習です。

5年生の子供たちは、開脚跳び・台上前転・頭はね跳びなど自分の技の練習を熱心に行うだけでなく、言葉で伝え合う活動にも取り組みました。

「できているから大丈夫!」「上手!」「完璧!」などの称賛の言葉をかけるだけでなく、「上手になってきているね。もう少し踏切を思い切って」「足を曲げないで伸ばすともっとよくなるね。」「足が開いているからそろそろいいね。」などと具体的なアドバイスをしていました。

第14代日本サッカー協会会長の田嶋幸三氏は著書『「言語技術」が日本のサッカーを変える』の中で、「“そのプレーの意図は?”と聞かれたとき、監督の目を見て答えを探ろうとする日本人。一方、世界の強国では子どもでさえ自分の考えを明確に説明し、クリエイティブなプレーをしている。日本サッカーに足りないのは自己決定力であり、その基盤となる論理力と言語力なのだ。」と述べ、言葉の力の必要性を説いています。

スポーツ・体育においても言葉の力は重要なのです。

放課後に参観した先生方が集まって、授業のよかった点や改善点等を話し合いました。今後も少しでもよりよい授業ができるように取り組んでいきたいと思ひます。

ご家庭でも

先日、6年生が提出した自主学習ノートに5年生の時に書いた日記がありました。

今日は、家族でお茶とおかしを食べて団らんをしました。家族との話をたくさんできてうれしかったです。お茶をつぐときに家庭科の授業でやったように意識してできました。

また団らんをたくさんしたいです。

「家族との話をたくさんできてうれしかったです。」と書いています。

子供たちは家族とたくさん話がしたいと思っています。これまでもされているとは思いますが、家族でお子さんとお話をする機会を大切にしていだければと思ひます。

もし、可能でしたら、国語の教科書の巻末「ことばのたからばこ」を開いて、ここについている言葉を使ってお話をしてみてください。「ここにある言葉を使って、今日の出来事を話して」とお子さんに投げかけるのもよいでしょう。ゲーム感覚で楽しく取り組んでみてください。

子供たちの語彙力向上のために、どうぞよろしくお願ひいたします。

私からの一方向ではなく、双方向になればよいと思ひしております。
「学校だより」やホームページ等へご感想・ご意見はこちらから。



友達にアドバイスや称賛を伝える5年生



東山研究会で授業について話し合う先生方